

小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp

プロフィール

<生年月日> 昭和 41 年(1966 年)9 月 18 日 <血液型>O 型 <趣味>スキー
<経歴> 三里塚小一遠山中一千葉日大一高一日大理工学部一日大大学院理工学研究科
平成 7 年成田市議会議員当選 以後 4 期当選 第 34 代成田市議会議員等を歴任
<現在> 県議会 県土整備常任委員会委員長 ちば自民党青年局 政策交流委員長



千葉県の職員数 人口 1 万人あたり全国で 2 番目に少ない

県では、職員定員の適正化を進めるために、平成 10 年 3 月に「千葉県新行政改革大綱」を改定し、新規採用を抑制、また組織の再編と事務事業の見直し、業務の外部委託を進めた結果、平成 10 年度から平成 25 年度間で知事部局の職員数は約 2,300 人減少し、政令市の人口を除く一般行政部門の人口当たりの職員数は、47 都道府県中、埼玉県について全国で 2 番目に少ない状況となりました。

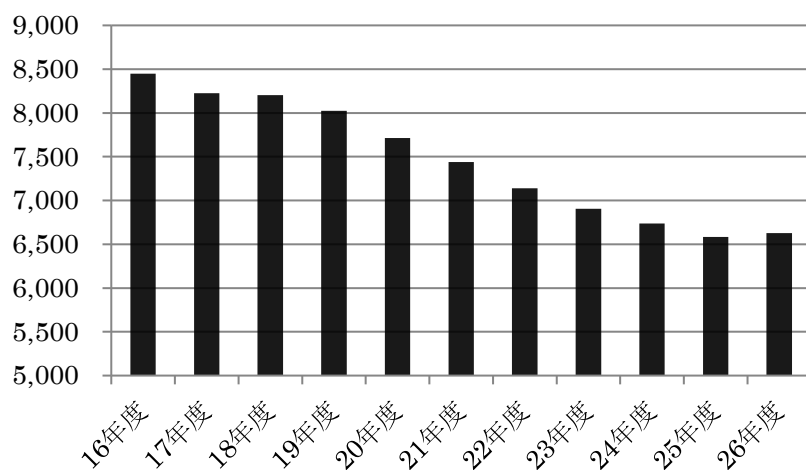
ただし、職員の年齢構成は採用抑制の影響で若い職員が少ないという状況もあり、

今後は限られた職員数で継続的に県民サービスの質を維持し向上させていくために職員一人ひとりの能力を引き出すとともに、適材適所の人材配置と適正な人事評価制度が確立されることが重要であると考えています。

また、単に総数の削減議論に固執せず、将来を担う人材の確保が重要であるという観点をしっかりと位置づけて毎年計画的な職員採用を行う必要があるとの認識です。

今後も小池まさあきは、千葉県の発展に資する人材の確保と育成が重要であるという認識のもとに、引き続き不断の行政改革を訴えてまいります。

職員数の変遷(定年前・知事部局)



男性 71.19 歳、女性 74.21 歳 2013 年の健康寿命

厚生労働省によると、2013 年の健康寿命が 2010 年に比べて男性で 0.77 歳、女性で 0.59 歳伸びて、それぞれ 71.19 歳、74.21 歳となったと発表しました。

2013 年の平均寿命は、男性が 80.21 歳、女性が 86.61 歳で、健康寿命以降の日常生活に支障のある期間は、男性が 9.02 年、女性が 12.68 年で、2010 年に比べてそれぞれ 0.11 年、0.28 年短縮されたとのこと。

平均寿命と健康寿命の差が縮まることは、増大する医療費の抑制にも寄与することから、国を挙げて取り組みが必要であることは言うまでもありません。

健康寿命とは

介護を受けずに日常生活を支障なく遅れる期間

成田市に医学部新設なるか 日本の医療産業の核となれるチャンス

昨年5月、東京圏の一部として国家戦略特区に千葉県で唯一指定された成田市。10月に第1回の会議が開催され、区域計画の素案が議論されました。

そして、成田市と国際医療福祉大学が提案している国際医療学園都市構想の核となる医学部の新設について議論する「成田市分科会」が設置され、12月17日に会議が開催されました。

分科会を設置して議論を行っているということでは、議論すべき順序に従って結論が得られるのでは?との憶測が飛び交いますが、「地域医療への影響等にも配慮しつつ、関係者の意見も踏まえ、引き続き検討を行う」とされています。

「グローバルスタンダード」に対応した医学部が成田市に設置され、計画にある600床規模の国際基準の病院が核となって産学連携による医療機器の研究開発が行われ、成田が日本の医療産業の世界進出への拠点となることを期待しています。

平成27年度政府予算 県に特に関係するものについて知事がコメント

・首都圏中央連絡自動車道の整備

首都圏中央連絡自動車道については、効率的な物流ネットワークの強化として、2,379億円の決定がありました。

神崎IC—大栄JCT間がいよいよ開通間近となりましたが、残る大栄—横芝間18.5kmの早期整備を!

・成田国際空港の整備

我が国の空港で初めてとなるファーストレーンの設定や、耐震対策に国直轄事業費として、44億円の決定がありました。

ファーストレーンとは
国際会議等の参加者やVIP等を対象とし、入国手続を優先して行うレーン

・都心直結線の整備に向けた検討

都心と成田空港・羽田空港間の鉄道アクセス改善を目指し、都心直結線の整備に向けた検討の推進として2億1,600万円の内数との決定がありました。

都心直結線とは
都営浅草線の押上—泉岳寺駅の約11キロ約4千億円の費用捻出が大きな課題
羽田周辺鉄道整備計画との競合が懸念

・平成27年度の警察官の増員

全国枠で要求がなされた1,020人がすべて認められ、このうち本県には50人が増員される見通しとなりました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催も控え、犯罪の起こりにくいまちづくりが推進されることを期待!

LCC ピーチ 羽田空港に就航 羽田—台湾線認可か 成田も拠点化へ

羽田空港の容量に空きがないことから、同空港への格安航空会社LCCの乗り入れは困難と言われ、首都圏において「LCCは成田空港ならではのモデル」と言われてきましたが、今年夏にもピーチ・アビエーションが羽田—台湾（桃園）線の開設を検討し、国もそれを求める方向です。

羽田空港の深夜早朝枠を利用した路線開設となる見込みですが、都心に近い羽田空港であることから空港アクセスの問題はないと思われ、心配していたLCCの羽田就航が現実となってきました。

なおピーチ・アビエーションは、成田空港を拠点化することを発表しましたので、成田空港としても歓迎すべきところですが、成田空港における国内航空会社間の競争も激化する見込みです。

私としては、各航空会社がしっかりと定着して成田空港の国内外のネットワークを維持し、信頼のある空港として利用者に認知されることを願っています。